

● 内政

1 民間ビジネスタスクフォース、警察を批判

民間ビジネスタスクフォースは、ザンビア警察が行政命令で廃止された不必要な道路検問などを私的に継続して実施し、賄賂の徴収やハラスメントじみた行為が横行しているとし、警察上層部に対し改善を要望した。タスクフォースによると、警察の横暴によりザンビアの観光地としての評判を貶めるのみならず、ザンビア企業が約2億5000万ドルの収益機会を失っていると評した。（12月5日付 News Diggers）

2 政府、補正予算案を国民議会へ提出

政府は、総額118億クワチャ（約700億円）の補正予算案を国民議会へ提出した。補正予算の53%は債務返済に充当される。2024年度予算策定時点では、国内債務の利払いは329億クワチャと予算化されていたが、実際は年末までに380億クワチャに達する見通しであることから、その差分に充当されることとなる。（12月6日付 News Diggers）

3 政府、サイバーセキュリティ法及びサイバー犯罪法の提出を延期

ムウィンブ内務・国内治安大臣は、国民議会へ提出予定であったサイバーセキュリティ法及びサイバー犯罪法の提出について、国民議会会議場で提出延期を表明した。同法の提出にあたってはNGOや関係者から懸念が表されており、政府として再検討するために延期することとなった。（12月6日付 News Diggers）

4 大統領、市民社会団体（CSO）と会談

ヒチレマ大統領は、項3で前述した法案提出に関連し、市民社会団体と会談した。会談の中ではCSO側から同法に関する懸念が伝えられ、ムウィンブ大臣は大統領の指示として法案の一時撤回を

表明した。（12月10日付 News Diggers）

5 ルング前大統領の大統領選出馬を禁止する判決

憲法裁判所は、ルング前大統領が前回選挙に出馬したことによりザンビア憲法で禁止されている3期目の任期を務めようとしたことが憲法違反にあたるとの訴訟に対し、ルング前大統領は既に2期大統領を務めており、前回選挙出馬を当時の憲法裁が認めたことは誤りであったと認定。同氏の次回選挙への出馬を認めない判決を下した。また同判決を受けてルング前大統領は不服を表し、大統領選挙出馬以外の“プランB”を探ると表した。

（当館注：ザンビア憲法は大統領の3選を禁止している。ルング大統領は1期目についてサタ大統領（当時）の逝去に伴う2015年1月から2016年8月までの短縮された期間、大統領の任に就いていた。前回選挙時にはこの任期は多選条項対象外との判断がされたが、今次判決では1選目と数えるものとされ、次回大統領選の出馬は3選目にあたるとして出馬禁止の判断が下された。）

（12月11日付 主要各紙）

6 人権委員会、警察を批判

人権委員会（Human Rights Commission）は、動委員会が調査した約900案件のうち9割が警察に関連するものと発表した。特に法令違反である長期拘留・児童の拘留などが特徴的であり、警察の改善が火急の課題と表しながらも、他組織とのコミュニケーション、起訴の遅延などの行政課題も原因であると評し、それぞれの組織へ改善を要請した。（12月11日付 News Diggers）

7 政府、11月の政府支出を説明

財務・国家計画省は、2024年11月に157億クワチャ（約900億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち17億クワチャが国内

債務の返済、12億クワチャが対外債務の返済、12億クワチャが過去の債務に関する延滞金として支払われた。(12月12日付 News Diggers)

8 大統領、政府高官を交代

ヒチレマ大統領は、保健省・外務国際協力省・エネルギー省の事務次官の更迭・交代を命じた。保健省事務次官については、11月来汚職疑惑が報じられていた。(12月14日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 大統領、米国バイデン大統領と会談

12月4日、ヒチレマ大統領は、アンゴラ・ロウレンソ大統領の招きに応じてアンゴラ・ロビトを訪問し、ロビト回廊サミットに参加した。サミットの中ではロビト回廊の開発について関係国間での協議が実施された。また、同サミットのマージンでヒチレマ大統領は、バイデン大統領との会談を実施した。会談の中では、二国間関係、経済発展、債務改革の必要性について話し合われた。(12月5日付 News Diggers)

2 大統領、ナミビア総選挙で勝利したンダイトワ新大統領に祝意を表明

12月6日、ヒチレマ大統領はナミビアで実施された総選挙で勝利したンダイトワ新大統領に祝意を表した。また、選挙が平和裏に実施されたことを賞賛した。(12月6日付 大統領 Facebook)

3 外相、SADC 臨時閣僚会合にオンライン参加

12月9日、ハインベ外務・国際協力大臣は、コンゴ民主共和国における SADC ミッション (SAMIDRC) の予算について審議するため、SADC 臨時閣僚会合にオンライン参加した。(12月9日付 外務・国際協力省 Facebook)

3 大統領、SADC 首脳会合にオンライン参加

12月11日、ヒチレマ大統領は、オンライン

開催された SADC 首脳会合に参加した。2025年12月まで任務期間が延長されたコンゴ民主共和国における SADC ミッション (SAMIDRC) に関する議論が主テーマとなった。(12月11日付 外務・国際協力省 PR)

4 大統領、英国開発・女性平等担当相と会談

12月12日、ヒチレマ大統領は当地を訪問中のアンネリーズ・ドゥズ英国開発・女性平等担当大臣と会談した。会談の中では、民間部門の活性化に向けた議論が交わされるとともに、干ばつ支援として社会現金給付に關しての英国の資金面も含めた支援に感謝が述べられた。(12月13日付 大統領 Facebook)

(了)